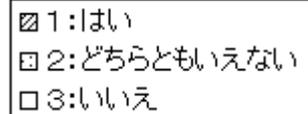


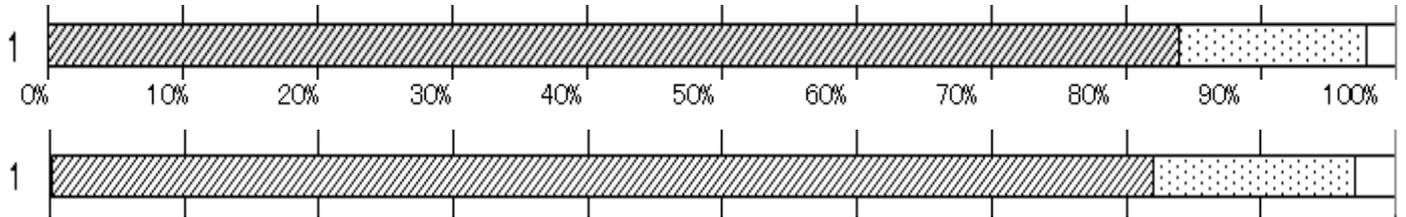
平成29年度 第2回長尾っ子アンケート 集計結果

上段：今年度第1回結果（6月）

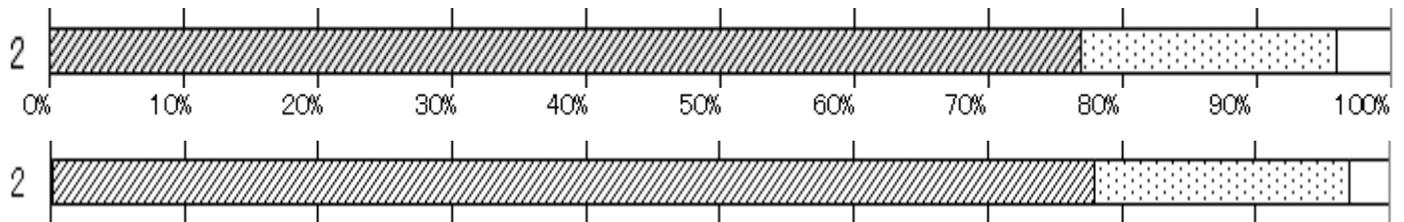
下段：今年度第2回結果（11月）



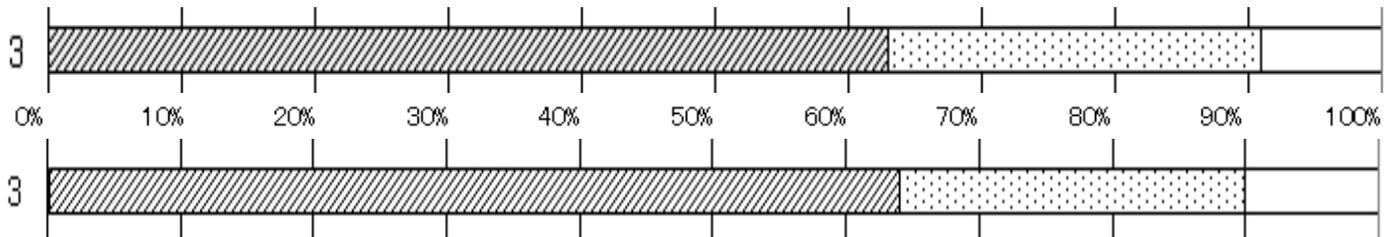
1 学校生活は楽しいですか。



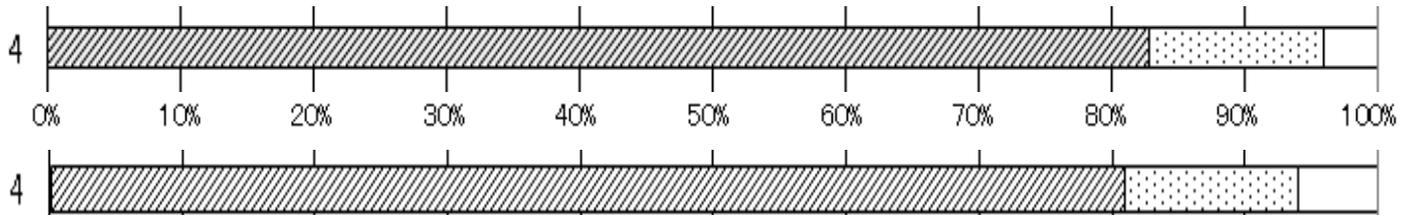
2 授業内容は、よく分かりますか。



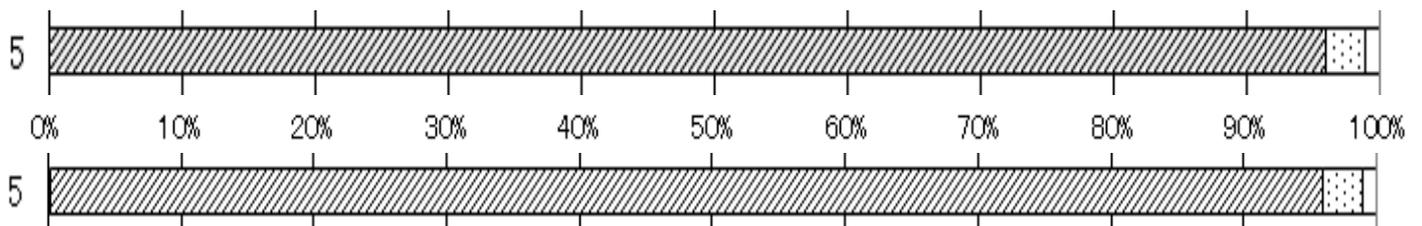
3 学級で、安心して自分の意見や考えが発表できますか。



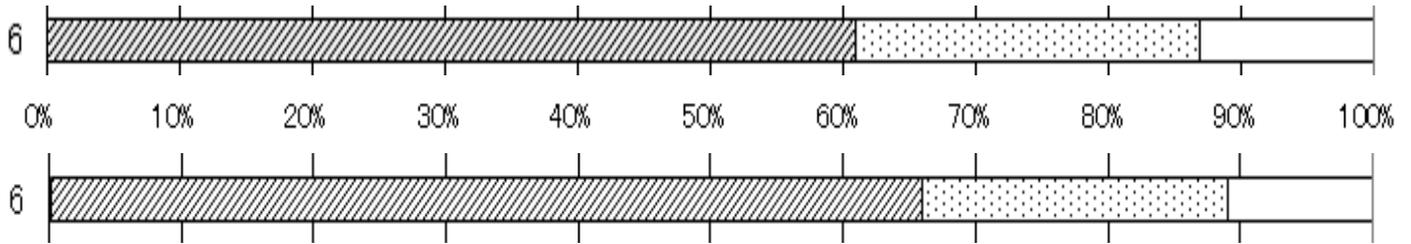
4 困ったとき、相談できる先生はいますか。



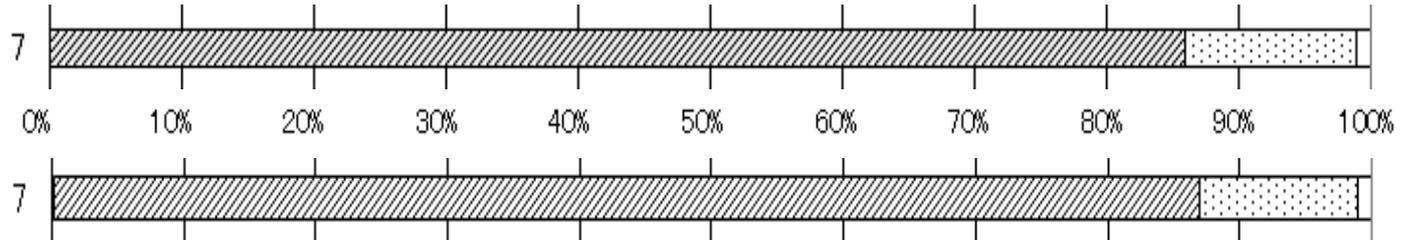
5 仲のよい友達がありますか。



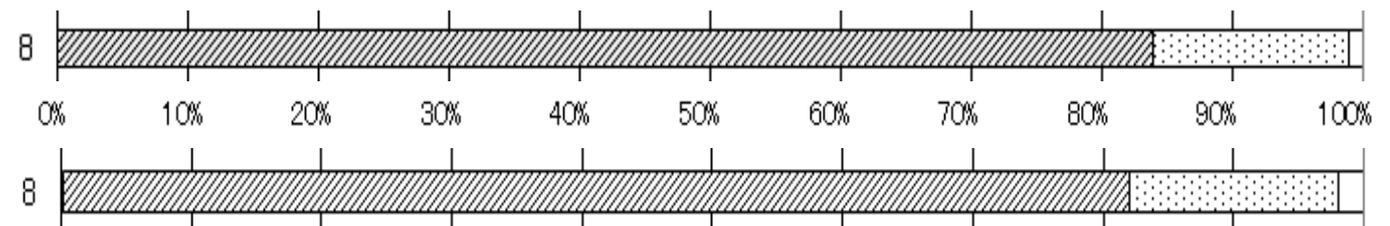
6 自分のよいところと言えますか。



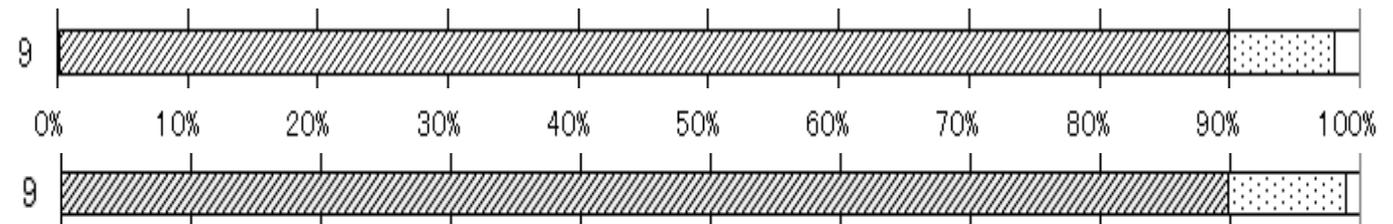
7 友達に優しくしていますか。



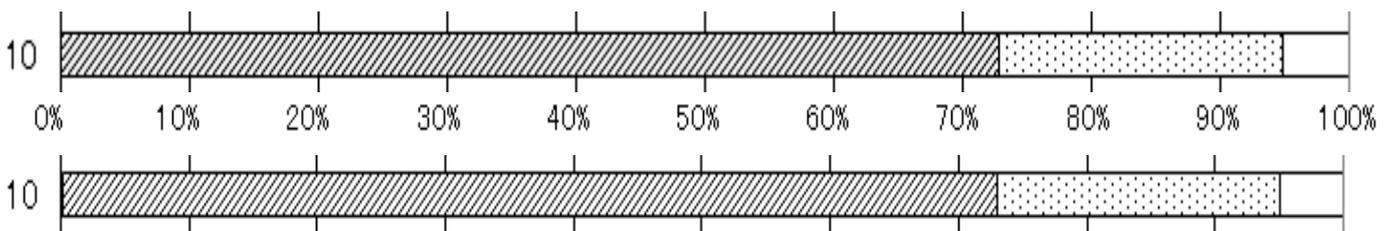
8 学校のきまりや約束をいつも守っていますか。



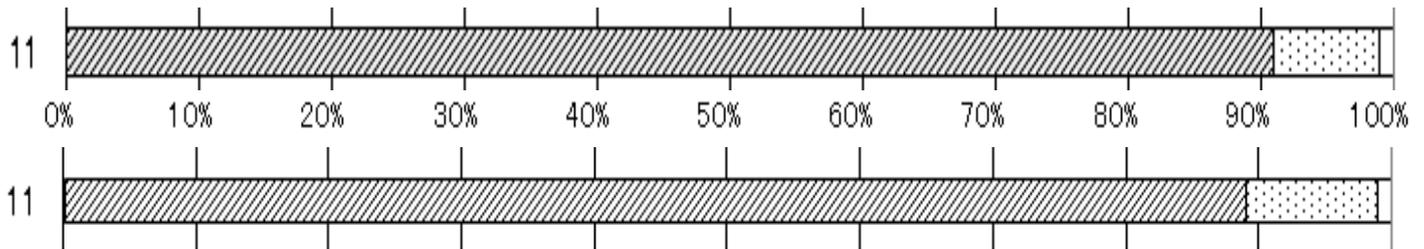
9 係や当番の仕事をきちんとしていますか。



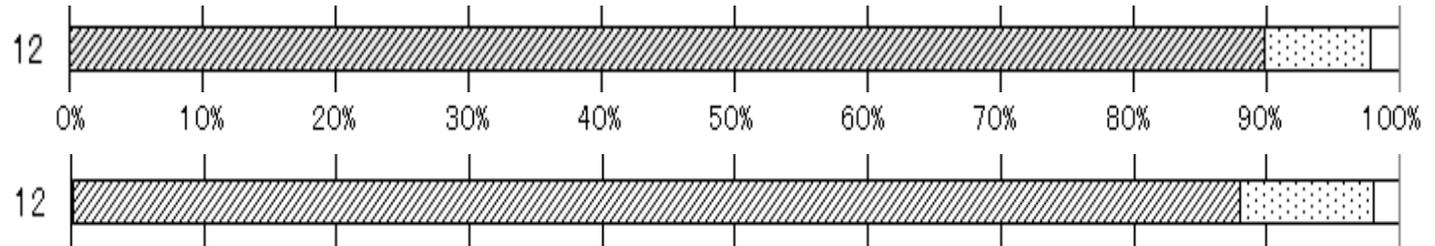
10 自分から進んで、元気よく挨拶をしていますか。



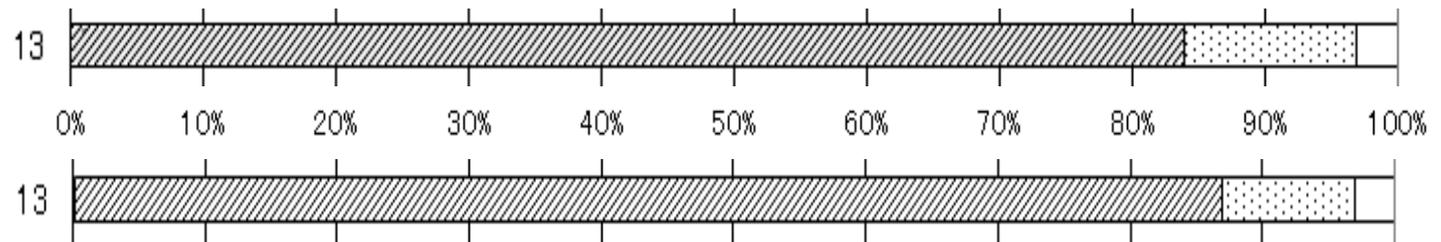
1 1 名前を呼ばれたとき、きちんと返事をしていますか。



1 2 宿題を家できちんとしていますか。



1 3 周りの人に「ありがとう」と自分から言えていますか。



<第2回長尾っ子アンケートの考察>

○ 評価の高かった項目（「はい」が81%以上） ※（ ）内は「いいえ」の割合

- 1 学校生活は楽しいですか。・・・82% （3%）
- 4 困ったとき、相談できる先生がいますか。・・・81% （6%）
- 5 仲のよい友達がありますか。・・・96% （1%）
- 7 友達に優しくしていますか。・・・87% （1%）
- 8 学校のきまりや約束を守っていますか。・・・82% （2%）
- 9 係や当番の仕事をきちんとしていますか。・・・90% （2%）
- 1 1 名前を呼ばれたとき、きちんと返事をしていますか。・・・89% （1%）
- 1 2 宿題を家できちんとしていますか。・・・88% （2%）
- 1 3 周りの人に「ありがとう」と自分から言えていますか。・・・87% （3%）

※.....は、第1回「長尾っ子アンケート」の結果よりよくなった項目

● 評価が低かった項目（「はい」が74%以下） ※（ ）内は「いいえ」の割合

- 3 学級で、安心して自分の意見や考えが発表できますか。・・・64% （10%）
- 6 自分のよいところと言えますか。・・・66% （11%）
- 1 0 自分から進んで、元気よく挨拶をしていますか。・・・73% （5%）

※.....は、第1回「長尾っ子アンケート」の結果よりよくなった項目

○ 全体を見てみると、「はい」と答えた児童の割合が60%台～90%台の幅で推移している。このことから、指導について一定の成果が得られていると言ってよいだろう。

○ 特に、「5 仲のよい友達がありますか。」という項目で「はい」と答えた児童の割合が高い。良好な友達関係・学級集団の中で楽しい学校生活を過ごしていることがわかる。今後も、この状態を維持できるよう、よりよい学級集団づくりに努めたい。

○ 「2 授業の内容は、よく分かりますか。」と「3 学級で、安心して自分の意見や考えが発表できますか。」という項目について、第1回と第2回の結果を比べると、「はい」と答えた児童の割合がわずか(2%)ではあるが増えている。記述欄には、『授業がよく分かるから、楽しい。』『自分の考えを発表することができるようになってうれしい。』と記入している児童が第1回るときより増えている。

本年度は、『自ら課題を追求し、主体的に学ぶ児童の育成～できる喜び、関わる楽しさを求めて～』を研究主題として、算数科を中心に学習指導の在り方について研究してきた。

児童が自分の考えを発表することができるようにするために、まず、居心地のよい学級づくり・安心して自分の意見を言える学級づくりに取り組んだ。また、課題に対しての自分の考えを書かせてから発表させるなど、児童が自信をもって発表することができるようにするための手立てを行ってきた。

「できる喜び」「わかる楽しさ」を児童一人ひとりに味わわせるために、導入を大切にした授業づくりに取り組んできた。また、問題文を絵や図にして示すことで問題解決のためのポイントを取り出し、児童が見通しをもってから自力解決に臨ませるようにしてきた。

学習活動の最後には、学習して分かったこと、できたこと、次にしたいことなどを書かせて発表させる「ふりかえり」の時間を確保し、大切にしてきた。

これらの工夫を4月から積み重ねてきた成果が、今回の「長尾っ子アンケート」の結果に表れていると考えられる。今後も、教師全員で共通意識をもち、児童一人一人の「わかった」「できた」という思いを大切にした授業づくりについて研修を深めていきたい。

○ 「3 学級で安心して自分の意見や考えを発表できますか。」の項目で「はい」と答えた児童の割合は64%で、依然として評価が低い。しかし、第1回の結果と比べると1%、昨年度の同時期と比べると4%増えている。これも、算数科の授業を中心に前述のような取り組みを重ねてきた成果と考えられる。記述欄にも、「発表ができるようになってうれしい。」という内容の記述が第1回るときと比べて随分増えてきている。今後も、児童が自分の考えをもち、主体的に学習に取り組んでいくことができるよう引き続き努力していきたい。

○ 「6 自分のよいところが言えますか。」の項目で「はい」と答えた児童の割合は66%で、依然として評価が低い。しかし、第1回の結果と比べると2%、昨年度の同時期と比べると5%増えている。

これは、教師が校内人権週間や道徳の時間など様々な活動を通して、児童が自分のよいところやもっと頑張りたいことを見つめる機会を設け、児童の自尊感情や自己肯定感を高めていくための手立てを行ってきた成果と言えるだろう。また、児童一人一人が所属感をもつことができる、安心感のある学級経営を心がけてきた。今後も、よかったことは、たとえ小さなことでも保護者に伝えるなどして家庭との連携を密にし、児童の自尊感情を高めていくことができるよう、引き続き努力していきたい。

- 「13 周りの人に「ありがとう」と自分から言えていますか。」の項目で「はい」と答えた児童の割合が第1回と比べてさらに増えているのも嬉しい成果である。日頃の教師からの声かけがどれ程大切であるかを再認識した。今後も指導に努めるとともに、教師自身の言葉遣い・児童への接し方についても見直していきたい。

<記述欄から>

● 今回の「長尾っこアンケート」でも、登下校時の問題についての記述が目立った。

- ・ 登校班長の歩く速度が速すぎて、ついていけない。
- ・ 登校班長が他の班の人と二列になって歩いて行くので、困っている。
- ・ 登校班長が班の人とおしゃべりをするので、学校に到着するのが遅くなって困っている。
- ・ 登校班の並び方がよくない。(横に道いっぱい広がって歩いている。)
- ・ 副班長が後ろからランドセルを開けるのが嫌だ。
- ・ 下校(低学年のどうぶつ下校)のとき、すぐにバラバラになってしまう。
- ・ 下校のとき、信号無視をして横断する高学年がいる。 など

第1回「長尾っこアンケート」でも、登下校時の問題についての記述が多かったが、第2回ではさらによくない状況が浮かび上がる結果となった。今後も、登校班長・副班長会を行ったり、地区別下校の機会をとらえたりして、適切な指導をしていきたい。

● 名前の呼び方で傷ついている子どもの姿もうかがえた。

- ・ 友達に、人の名前で遊ばれたり、言われたくないあだ名をしつこく言われたりするのがづらい。
- ・ 名前を呼び捨てにされるのが嫌だ。 など

今回、名前の呼ばれ方についての悩みを記述欄に書いている児童が目立った。友達の名前を呼ぶときには「～さん」を付けて呼ぶことを指導しているが、まだまだ不十分である。教師が児童の名前を呼ぶときにも児童の手本となるように気を付けていきたい。

○ 今回の「長尾っこアンケート」でも、記述欄に自分自身を肯定的にとらえた、前向きな記述が多かった。

- ・ ぼくは、〇〇ができるようになりました。
- ・ もっと〇〇ができるようになりたいです。
- ・ 「〇〇ですね。」と先生がほめてくれてうれしい。 など

今後も、児童の中にこのようなものの見方、とらえ方が増えていくように、教師自身も児童一人一人のよさや頑張りを認め、受容的な言葉を増やしていくよう努めていきたい。